

# はんげんぱつ新聞

- たちねによる汚染状況測定 ..... 2面
- 各地からの便り ..... 3面
- 原発新設を支える融資制度案
- 講座：ABWRの制御棒駆動機構
- 26年度原子力予算案 ..... 4面

反原発運動全国連絡会 〒164-0011 東京都中野区中央2-48-4 小倉ビル1階 郵便振替00190-5-12484 反原発運動全国連絡会  
 TEL&FAX 03(5358)9792 ゆうちょ銀行 〇一店 当座 0012484 ハンゲンパツツウドウゼンコクレンラクカイ

https://www.cnjc.jp/hangenpatsu/

書 西山隆章

反原発新聞 第576号 2026年3月20日 (第三種郵便物認可)



## 過小評価されたICRRP勧告の体系的批判をめざす 日本放射線リスク評価委員会(JCRRRA)が2026年2月に設立された。

藤岡毅 (JCRRRA事務局長)

2月22日、神戸大学深江キャンパスにて日本放射線リスク評価委員会(JCRRRA)設立総会が開催され、設立趣意、規約、事務局体制、2026年度基本方針が全会一致で採択された。  
 同設立総会の第1部記念講

演会では、山内知也(神戸大学)、高橋博子(奈良大学)、森松明希子(原発賠償関西訴訟原告代表)、矢ヶ崎克馬(琉球大学名誉教授)がJCRRRA設立に関連して講演を行った。記念講演や設立総会には、会員外の方々も多数参加し、オンライン参加を含めると144名の参加登録があり、関心の高さをうかがわせた。  
 JCRRRAは、チェルノブイリ原発事故の影響を受け、1997年にヨーロッパで結成された欧州放射線リスク委員会(ECRR)の活動を受

け継ぎ、さらに発展させることを目的として結成された。ECRRはその勧告で、内部被ばくの無視によって放射線の健康被害を過小評価してきた国際放射線防護委員会(ICRP)を批判し、1mSv/年というICRP1990年勧告の公衆被ばく限度をさらに10分の1に引き下げること

を勧告した。しかし、ICRPは2007年勧告によって「被ばく状況」に基づく基準を導入し、これまで「健康を守る」基準であったものを国家統治の基準に変えてしまった。

福島原発事故以降、ICRP P2007年勧告の反動的な内容が政府によってなし崩し的に取り入れられている日本で、ついにJCRRRAは設立された。JCRRRAはECRRのICRP批判をさらに深め、ICRPの実効線量体系が非科学的で人権無視の体系であることを暴くとともに、科学と人権に基づく新しい理

論的枠組みを作り出すことを目標に掲げた。そのため市民と科学者他専門家がJCRRRAに集まることを呼びかけている。  
 今回の設立総会では代表に矢ヶ崎克馬氏が選ばれ、事務局体制も確立した。JCRRRAはその目的を達成するために、多くの人々の力を必要としている。ぜひ会員に加わっていただきたい。  
 なお、JCRRRAのウェブサイトをこちらである。  
<https://jcrrra.org/>

本会の趣意、規約、方針他設立記念総会の各講演の記録動画なども見ることが出来る。